

## 北区男女共同参画行動計画「第6次アゼリアプラン」中間のまとめに関するパブリックコメント実施結果と区の考え方

意見募集期間：令和元年12月20日（金）～令和2年1月27日（月）39日間

意見提出者数：8名（内訳）持参0名、FAX1名、ホームページ7名

意見総数：20件

周知方法：北区ニュース（12月20日号）、ホームページ、区政資料室、地域振興室、区立図書館、スペースゆう  
提出された意見の要旨とそれに対する区の考え方は以下のとおりです。

### 1 パブリックコメント実施結果と区の考え方

#### 目標1 人権を尊重し健康な生活を実現する地域社会（7件）

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
1	「課題2 性別等にかかわる人権侵害防止への取組み」ではセクハラ、パワハラはもとより、虐待への関わりはそれらから連鎖され、高齢者、子供たちや立場の弱い者が苦しみ犠牲になっている。担当課欄に、虐待防止や人権問題を担当する多様性社会推進課が入るのはいか。	1	「取組3 関係機関との連携強化」のとおり、高齢者や障害者、子ども等の関係部署との連携した取り組みを実施しています。 課題2については、DV（ドメスティック・バイオレンス）以外の暴力や虐待防止を担当する部署を掲載しています。 今後も、性別等にかかわる人権侵害防止への取組みを、関連部署と連携して推進してまいります。
2	「生涯を通じた心と体の健康支援」では、リプロダクティブヘルスライツに関して触れられている点は評価できますが、若い方への性に関する学び（性教育）について触れていない。 自分自身を大切にする、そういう性教育を学ぶ場を提供していくことが大事だと考える。 若年層への指導推進に力を入れてほしい。	2	男女共に性と生殖（妊娠・出産）に関する正しい知識を持つことは大切だと考えています。 「取組12 若年層に対するデートDV、性被害防止等に関する意識啓発及び相談窓口の周知」や「取組20 性に関する学びの提供」により区民等への講座やリーフレット等での啓発を進めるとともに、「取組60 発達段階に応じた学校等における性に関する教育の推進」として、児童・生徒の発達段階に応じた性に対する理解を深める教育を推進してまいります。

3	<p>NPO 法人等が行なったアンケート調査等で、LGBTの方はメンタルヘルス対策に関するハイリスク層になっている。職場や地域社会から疎外された当事者が、心身を患い、親族にも行政にも頼れず、貧困に陥っているケースもある。</p> <p>性教育、性の多様性への理解促進を含めて、健康づくりへの支援に、LGBT 等、SOGI（性的指向・性自認）の観点も明記し、メンタルヘルスに関する情報提供と支援に、LGBT 等、SOGI（性的指向・性自認）に関する啓発・情報提供を明記すること。</p>	1	<p>「策定にあたっての基本的な考え方」に記載のとおり、SDGsがめざす性別・人種・言語・宗教・障害等の区別のない基本的人権の保障等を踏まえた計画であり、すべての施策目標に共通するものと考えています。</p>
4	<p>東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例では、「都、都民及び事業者は、性自認及び性的指向を理由とする不当な差別的取扱いをしてはならない。」とあり、事実婚と同性パートナーを持つ家族は同じ待遇にすべきである。</p> <p>全国的にパートナーシップ制度を導入する自治体が増加傾向にあり、北区でも同性どうして生活する者も家族として扱う「パートナーシップの公的認証制度」の創設を目指し、「パートナーシップ認証制度の導入を行う」と明記してほしい。</p>	1	<p>性的少数者の人権尊重のため、パートナーシップ認証制度を導入している自治体があることは承知していますが、性自認や性的指向の多様性への理解を深めるため、正しい知識を身に付けられる啓発が必要であると考えております。</p> <p>パートナーシップ認証制度の導入については、区民等の理解を得ることが必要不可欠と考えておりますので、他の自治体の動向を参考に、引き続き調査・検討を進めてまいります。</p>
5	<p>北区でも、年齢・性別・障害の有無に関わらず、すべての人が活躍できる社会を目指していると思う。</p> <p>高齢化率の高い北区では、いち早く手を挙げるのが、固定概念を持つ人々へのインパクトが大きいと考える。</p> <p>高齢単身世帯が点在し、何が起ころうとも気づかない状態より、夫婦別姓・同性カップル、血縁の有無にかかわらず寄り添って生きていけるよう、新しいパートナーシップ認証制度が必要だと考える。</p>	1	

6	<p>「性の多様性の理解促進」では、偏見や差別により社会生活の様々な場面で当事者が困ることがなく、自らの性のあり方や生き方に迷い悩むことなく、自分らしく生きることができる共生社会の実現が大切だと思う。</p> <p>パートナーシップ認証制度ありきで調査・検討するのではなく、現場において当事者の方々が直面する様々な場面での困り事を、可能な限り解消していくための取組みが先であり、制度は婚姻関係のあり方そのものに関わるものであり、広範な国民的議論が必要なことから慎重に議論していくべきだと考える。</p>	1	<p>性的少数者への偏見や差別が存在し、当事者が直面する悩み事に寄り添う必要があるとの認識から、性の多様性の正しい理解のための普及啓発に加え、相談窓口の充実を実施してまいります。</p> <p>パートナーシップ認証制度については、区民等の理解を得ることが必要不可欠と考えておりますので、他の自治体の動向を参考に、引き続き調査・検討を進めてまいります。</p>
---	---	---	---

目標2 ワーク・ライフ・バランスが実現する地域社会 (0件)

No	意見(要旨)	件数	区の考え方
	なし		

目標3 あらゆる分野で女性が活躍する地域社会 (1件)

No	意見(要旨)	件数	区の考え方
7	<p>2020年度から施行されるパワハラ関連法の指針には、SOGIハラ(性的指向・性自認に関わるハラスメント)やアウティング(本人のセクシュアリティを勝手に暴露する行為)に対する防止措置義務が含まれている。</p> <p>LGBT等、SOGIの観点から啓発を行うのであれば、パワハラに、SOGIハラスメントを明記すべきである。</p> <p>目標3「あらゆる分野で女性が活躍する地域社会」の「課題1 女性活躍のための環境整備」②女性活躍を阻害するハラスメントの防止に、SOGIハラを追記、または、パワハラ(SOGIハラを含む)と明記すること。</p>	1	<p>「策定にあたっての基本的な考え方」に記載のとおり、SDGsが目指す性別・人種・言語・宗教・障害等の区別のない基本的人権の保障等を踏まえた計画であり、すべての施策目標に共通するものと考えています。</p> <p>働く場における様々なハラスメントには、法の趣旨により性的少数者へのハラスメントも対象となりますので、「ハラスメント等」と記載することで趣旨は踏まえています。</p>

目標 4 男女があらゆる分野で学び参画する地域社会（10件）

No	意見（要旨）	件数	区の方考え方
8	男女があらゆる分野で学び参画する男女共同参画社会の実現及び多様性社会の推進に取り組んで行くために、男女に限らず、性の多様性の理解促進、支援も含めたSOGI（性的指向・性自認）の観点と、多様性社会の実現を明記すべきである。	1	「策定にあたっての基本的な考え方」に記載のとおり、SDGsが目指す性別・人種・言語・宗教・障害等の区別のない基本的人権の保障等を踏まえた計画であり、すべての施策目標に共通するものと考えています。
9	LGBTやSOGIについての学習を小学校から行って欲しい。周囲の無理解や差別的言動から性的少数者は自死のリスクが高いといわれている。 どの子どもも学校生活を無理なく過ごせるよう、「性の多様性」を認め合うことを目的とした「学びの場」を設けていただきたい。	1	性の多様性に関する学びの場については、「取組 60 発達段階に応じた学校等における性に関する教育の推進」のとおり、関係部署と連携し推進してまいります。
10	DVを防止するためには、保育園・幼稚園からの人権教育が必要と考える。暴力ではなく、会話でコミュニケーションをとり、誰かを支配することなく平和的な人間関係を築く方法を会得することは男女間だけでなく、性犯罪や幼児虐待の予防にもなる。	1	「取組 58 小・中学校、幼稚園、認定こども園、保育園での意識啓発」のとおり、男女共同参画の考え方を身につけられるよう意識啓発を行ってまいります。
11	男女共同参画については、家庭も含め幼少期からの幼児教育による影響が大きく、特に現場の教職員からの影響が大きいと考える。教職員に対しての教育・研修を義務化してほしい。	1	「取組 57 教職員等への研修の充実」として、小・中学校、幼稚園、認定こども園、保育園の学校教育等に従事する職員等への人権研修の中で、男女共同参画についての研修を実施しており、今後も計画的に実施してまいります。
12	学校教育での男女共同参画意識を推進するため連携を深めてほしい。	1	「取組 58～60」に記載のとおり、学校教育等での男女共同参画意識の形成について情報提供・共有を図り、連携を強化してまいります。
13	いつ災害が来て大きな被害を受けるかわからないので、「男女双方の視点に配慮した防災対策」は早期に具体的な施策をお願いします。	1	防災対策の充実について、男女双方の視点に配慮した防災計画等の策定や自主防災組織への啓発等を推進してまいります。

14	災害時の女性の指導者育成を、地元にいる人を対象に何回も行っていただき、いざというときに備えていただきたい。	1	男女共同参画の視点を踏まえた防災セミナーを実施しておりますが、今後も出前講座等で啓発や情報提供を行ってまいります。また、区内には女性消防団員や消防署ごとに地域の防火女性の会がありますので、防災関係機関との連携にも努めてまいります。
15	「北区防災会議」の北区ホームページは、平成28年5月の会議から内容が更新されておらず、女性委員は何割いるのか不明である。委員は充て職ばかりであり、団体代表者が男性でも「女性の委員を出してほしい」と要請することはできる。会議の場に女性が4割以上いないと、女性の視点は反映できない。また、性的少数者に配慮した避難所作りも広がっているので、文言として入れていただきたい。	1	北区防災会議の女性委員の割合は53人中5人で9.4%（平成31年4月1日現在）となっております。 区の附属機関の会議体等の多くが女性委員の割合の方が少ない現状であるため、取組53「審議会等への女性の参画推進」として、女性委員の積極的登用を推進してまいります。 また、「男女双方の視点に配慮した防災対策の充実」には、性的少数者への配慮も内包するものと考えております。
16	災害時の避難所開設にあたっては、女性が中心メンバーに必ず入るよう（割合も示し）指導してほしい。	1	災害時の避難所を開設・運営する自主防災組織の避難所開設訓練において、今後の避難所の運営には女性の視点が重要なので、避難所運営委員会には必ず女性を参画させてほしい旨お伝えしており、実際の訓練において積極的に活躍いただいています。 今後も機会を捉えて、男性・女性双方が避難所運営委員会本部メンバーとなるよう啓発に努めてまいります。
17	多くの町会長は男性です。町会役員に対して、きめ細やかな研修・教育をしてほしい。	1	町会・自治会長の女性の割合は180人中18人で10%（平成31年4月1日現在）となっておりますが、町会・自治会活動では多くの女性が担い手として参加しています。 町会・自治会等でのニーズに対応した専門講座の開催、アドバイザー派遣、出前講座等を通じて、男女共同参画意識の醸成のための啓発を行ってまいります。

計画を推進するためのしくみ（1件）

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
18	多様性という言葉で、男女施策がうすまらないように、多様化に伴って拡大されたことでジェンダー平等の達成が進むように、条例や方針とともに確実なる予算と、職員のやる気を期待します。 市民をもっと巻き込んだ計画に期待する。	1	男女共同参画基本法に基づき策定した本計画（アゼリアプラン）は、北区での男女共同参画社会の実現に向けた取組みをお示ししたものです。 男女共同参画社会の実現には、行政だけでなく多くの人たちの理解と協力が必要と考えており、「計画を推進するしくみ」にお示しのとおり、区の推進体制の充実とともに、区民、関係機関等との連携・協働により、本計画を推進してまいります。

課題ごとの数値目標（1件）

No	意見（要旨）	件数	区の考え方
19	性的少数者(セクシュアル・マイノリティ、LGBT等)のことを自分や自分に関わりのある問題として考えたりした人の割合とあるが、目標値を増やすことは、性的少数者を増やすことと誤解を招く表記になってしまう。 数値目標「性の多様性の理解促進」は、「性的少数者(セクシュアル・マイノリティ、LGBT等)について言葉の意味を理解している」等に指標を変更し、目標値（令和6年度）も見直しをすること。	1	「北区男女共同参画に関する意識意向調査（平成30年度）」では、LGBTという言葉で「聞いたことがあり、意味も知っている」方は72.7%で7割を超えています。 言葉の意味を知っているだけでは、男女共同参画社会や多様性を認め合う社会の実現には不十分であると考え、「自分自身の問題」として、また「知人のことなど自分に関わりのある問題」として、悩んだり考えたりする人の割合を増やして行くことが必要であるとの認識のもと、この指標を設定いたしました。 指標の表記を、誤解のないように、次のように修正いたします。 「性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）や（知人と）自分に関わりのある問題として悩んだり考えたことのある人の割合」

2 意見により計画を修正するもの

意見番号	該当箇所	修正前	修正後
19	53 ページ 課題ごとの指標 目標 1 課題 4	性的少数者（セクシュアル・マイノリティ、LGBT等）のことを自分や自分に関わりのある問題として考えたりした人の割合	性的少数者（セクシュアル・マイノリティ、LGBT等）のことを自分（自身）や（知人と）自分に関わりのある問題として考えたりした人の割合